

決議案について

別紙のとおり『中川暢三加西市長に対する問責決議（案）』を議決されたく、
会議規則第14条の規定に基づき提出します。

平成21年12月21日

加西市議会議長 後藤千明様

提案者 加西市議会議員 森 元 清 蔵

賛成者 加西市議会議員 三 宅 利 弘

” 黒 田 秀 一

” 吉 田 稔

” 高 橋 佐代子

” 森 田 博 美

” 繁 田 基

” 高 見 忍

” 櫻 井 光 男

” 土 本 昌 幸

中川暢三加西市長に対する問責決議(案)

第229回の本定例会における一般質問の答弁において、中川市長は『議会は形骸化し、時間の無駄である』と発言して市議会を侮辱した。また、市民団体の発行した新聞を『無責任なごろつき新聞とも受け止められかねない』と発言し、議場で反論できない市民に関することを議会で取り上げるなど、許されない発言を繰り返した。

また、定例会開催以前から1月の臨時議会開催を示唆し、本会議答弁でも『その件は1月の議会において出したい』と発言しているが、本会議の会議中に次の臨時議会の開催を示唆する発言は、議会制民主主義の定義さえわきまえない言動であり、議会そのものを軽視する現れである。

さらに、本会議場における議員の質問中に、市広報紙のゲラ刷りを持ち込んで赤ペンで校正をする市長の行動は、断じて許しがたい態度である。

開会中の委員会に付託された議案を審議する建設経済常任委員会においても、厚生常任委員会においても、議案の審議中に、議案書以外の事務シートを持ち込んでチェックを行っており、議長から注意を受けている。その後も、議案書を開けようとしめない中川市長の態度は、議案を審議する議会に臨む市長の姿勢としてはあまりにも無礼で会議を軽視するものであって許されない態度である。

市民生活の向上について、また行政の公正な執行について、ともに市民の代表としての意見を重視して真摯な態度で議会の審議に臨むべきである。

よって、ここに中川暢三市長に、その職務を認識し、その言動について猛省すべきことを勧告するものである。

以上、決議する。

平成21年12月21日

加西市議会